

# 活動PR資料5

## 外部との交流

愛知県立佐屋高等学校科学部

本校科学部が行ってきた活動の中でも、外部との交流について、一部をまとめました。

資料の一部には、他のPR資料にも掲載されている内容もあります。

本校科学部は、この資料の掲載以外にも、全国の大学、高校、研究機関とも積極的に交流活動を行っています。

# 愛知県高等学校文化連盟自然科学専門部 研究発表会

1月20日（土）開催 会場 刈谷市 主催 愛知県高等学校文化連盟自然科学専門部



会場の様子



本校部員による発表の様子1



本校部員による発表の様子2



本校部員による発表の様子3

愛知県高等学校文化連盟自然科学専門部の研究発表会は、おもに普通科高校の理科系クラブが、これまで参加の中心であった。発表内容は、3月に参加する日本生態学会の高校生ポスター発表の内容が中心である。専門高校の生徒の発表は、普通科高校の生徒、教員にとってはとても新鮮に感じられたようである。広大な学校農地、水田を使った調査は普通科高校では味わえないことでもあり、質疑、応答の時間では短い時間の中、高校生から多くの質問が出た。

# あいち eco ティーチャー 研修会に参加 社会人との交流

2月18日（日）開催 会場 名古屋都市センター 主催 愛知県環境局



当日参加した科学部員



社会人の方たちに本校の取組を紹介

**春の水田大探索**  
～冬眠から目覚めた  
いきものを探せ～

**クイズ1**  
茶色のカエルが何匹いるか数えよう

**クイズ2**  
緑色のカエルが何匹いるか数えよう

**クイズ3**  
ドジョウが何匹いるか数えよう

**クイズ4**  
スタートからゴールまで何匹いきものと出会えるか数えよう

**ゴール**

**スタート**

**考えてみよう！**

タニシはどういう場所に場所がたくさんいるか

いきものどのような場所にたくさんいるか

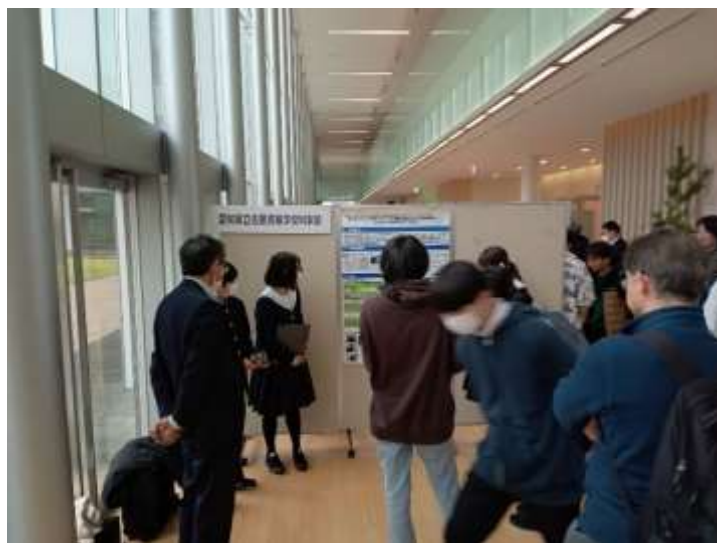
おまけ  
うえの絵の中にはなんて書いてあるかな

社会人の方たちに体験していただいた令和5年度に本校科学部が作成した環境教育教材

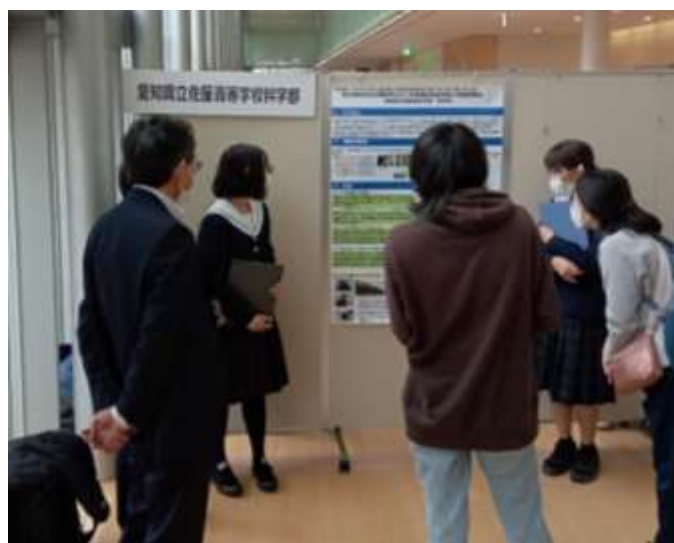
愛知県環境局が主催するあいち eco ティーチャーの研修会に参加した。この研修会は愛知県環境局から認定された、愛知県の環境学習に携わる社会人、eco ティーチャー達の研修会である。本校科学部と他に1校の高校生が参加し、活動の報告と、高校生が作成した自主教材の紹介及び体験参加をしていただいた。この研修会では、令和5年度に過去の科学部員が作成した教材のリニューアル版を用いた。この場では、現在、取り組んでいるナゴヤダルマガエルと水生昆虫の保全活動についても紹介した。

# なごや生物多様性シンポジウム 2024 に参加

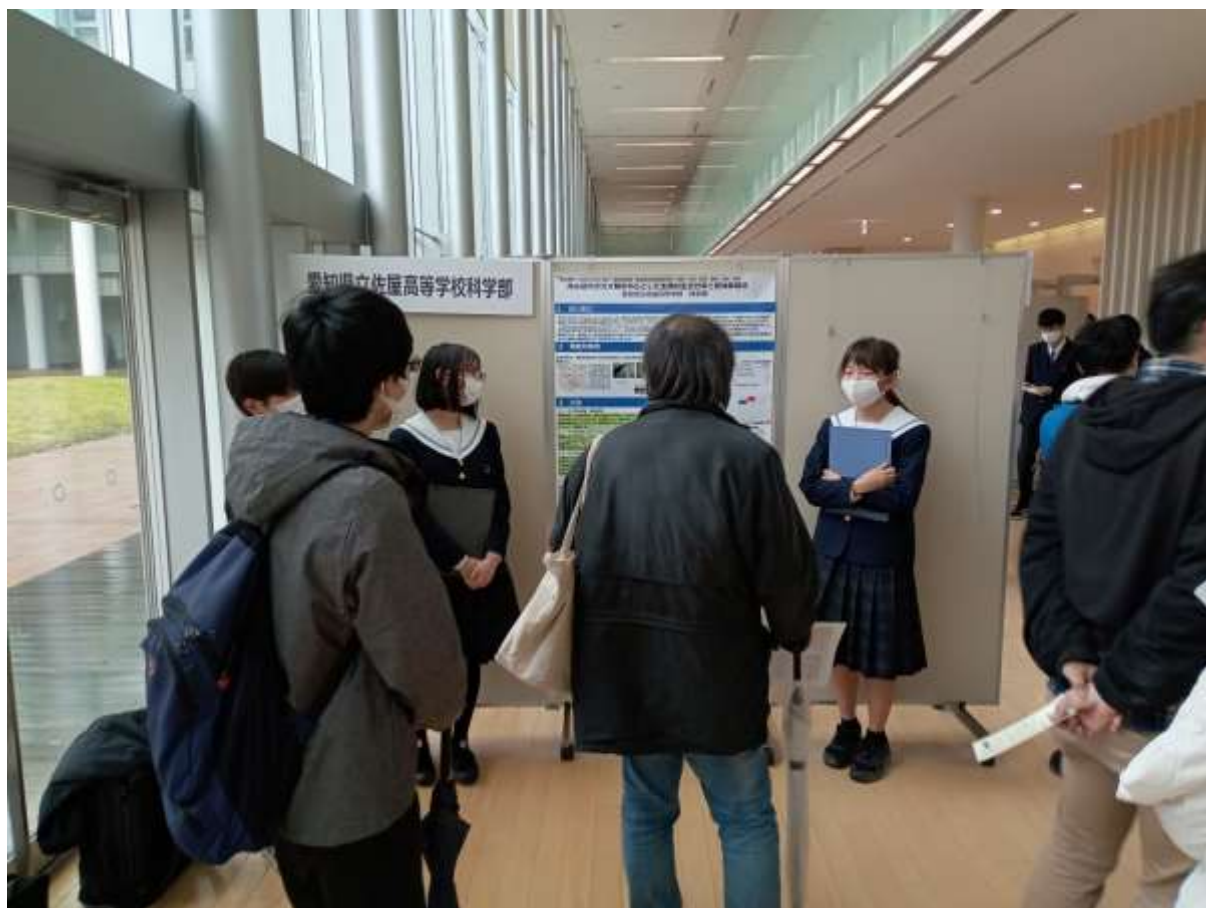
3月24日（日）開催 会場 名古屋市立大学 主催 なごや生物多様性センター



ポスター発表会場



ポスターの説明



なごや生物多様性センターが主催するこのシンポジウムでは、大学、NPO法人、企業等の他に名古屋市内を中心とする高校生も参加した。本校は水田関係の生物についての調査（この日のポスターは用水路に生息する淡水性カメ類の調査活動）を発表した。口頭で、現在、行っているナゴヤダルマガエル、水生昆虫の保全に関する取り組みも紹介した。名古屋市内での開催のため、本校の活動内容を聞いた多くの方から、水田生態系に関する質問が出た。

# なごや生きもの報告会&講演会に参加 発表

5月12日(日)開催 会場 名古屋市立大学 主催 なごや生物多様性保全活動協議会

なごや生物多様性保全活動協議会 活動報告会 **入場無料**

なごやでは、なごやの生物多様性を守り育てるため  
市民・専門業・行政が連携して生きもの調査や保全活動を行っています

## なごや生きもの 報告会&講演会

～調査から見た今のなごや～

**第1部 令和5年度活動報告会**

- 各部会による調査・保全活動
- なごや生きもの一斉調査(ハエトリグモ)
- 助成金事業(愛知県立佐屋高校科学部)

**第2部 講演会**

「火を噴き灰降る西之島、島は滅ぶか、滅ばぬか」  
川上 和人 氏

森林総合研究所 鳥獣生態研究室長

名古屋大学理学部、島の鳥獣の研究分野で、島に関する著作が多く、『鳥獣学』から、『島が好きだと思うなよ』(新潮社)はベストセラーになりました。調査の動物もつけていらっしゃいます。今回の講演では、火山噴出で生態系が壊滅した西之島(小笠原諸島)の自然の復元についてお話しいただきます。西之島は島になると立派な島にはならずアフリカの辺境の島です。

令和6年 **5月12日** (日)

時間 12時45分～16時45分

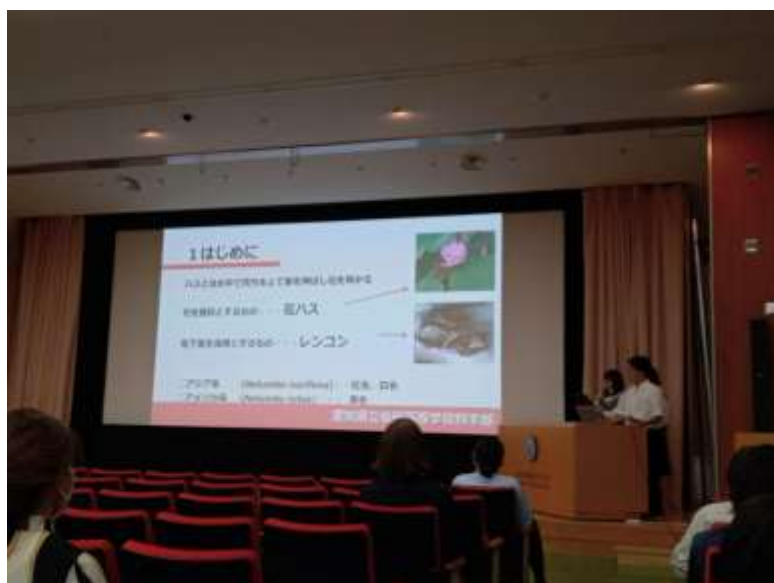
会場 **名古屋市立大学  
桜山キャンパス さくら講堂**  
(瑞穂区瑞穂町字川原1番地)  
・地下鉄桜通線「桜山」駅 南出口から、  
・会場へは、公共交通機関をご利用ください。

定員 **200名** (申込方法等は裏面をご覧ください)

主催：なごや生物多様性保全活動協議会  
実行委員会：なごや生物多様性保全活動協議会の事務局です



本校の発表の様子 1



本校の発表の様子 2

昨年度、なごや生物多様性保全活動協議会から助成金を得て活動していたこともあり、3月に引き続き、名古屋市立大学で発表をする機会を得た。助成活動のおもな名目は本校が位置する愛知県愛西市に多くある花ハスの保全活動であった。市内、本校での花ハスの保存状況と保全に向けた活動を発表するとともに、花ハス田、レンコン田及び水田で見られる生物類について、本校が行ってきた取組も紹介した。高校生の地道な活動が来場者の多くの方から共感が得られ、質問や感想の声も多く出た。

# 佐屋高校科学部主催 令和6年度 第1回 農業・自然教室

5月25日(土)開催 会場 愛知県立佐屋高等学校



受付の様子



参加者の様子



田んぼへ入る子どもたち



田植え体験



生き物探し

今年度、はじめて本校科学部として、地域の子どもたちを対象にした、自然に接する教室を自主開催した。

何人、参加者が来るか不安も大きかったが、22名の児童と保護者、合わせて40名以上の参加があり、生徒たちも大いに喜びながら、教室を運営した。田植えの後、生き物探しでは、ナゴヤダルマガエル、ドジョウなど生徒たちは科学部で知り得た知識を基に子どもたちに解説した。

この教室には、本校科学部のOBや自然教室に賛同する一般社会人も手伝いとして参加した。今後、多くの大人が教室の運営に参加することも期待したい。

# 佐屋高校科学部主催 令和6年度 第2回 農業・自然教室

7月25日（木）開催 会場 愛西市親水公園 共催 愛西市親水公園体育館、株式会社加藤建設



当日の科学部参加者



教室開催前の生き物の探索



水辺の生き物探し



植物の葉の観察



水の中の生き物探し

第2回目の教室は、地元愛西市体育館と地元企業との合同開催となった。

今回は陸の生き物、水の生き物、植物と3部構成であった。本校担当はおもに水の生き物であったが、他の分野でも積極的に子どもたちと関わり、知らないことは一緒に学んでもいた。

水の生き物の時間では、部員たちは水の中から回収した生き物について、子どもたちに分かりやすい言葉で解説した。予想以上に、ナゴヤダルマガエルが生息しており、今後、同カエルの市内の分布域を作成も視野に入れたい。

# 佐屋高校科学部主催 令和6年度 第3回 農業・自然教室

8月24日（土）開催

会場 愛知県立佐屋高等学校 協力 名城大学野生動物生態研究会



農場での昆虫採集



参加者の親子



虫探しに夢中の子どもたち



大学生が講師による昆虫標本づくり



本校科学部員による解説

今回は大きなテーマとして、昆虫採集と昆虫標本作りである。科学部には現在、昆虫標本づくりのノウハウがないため、名城大学農学部学生サークル野生動物生態研究会の全面協力により、今回の教室を実施した。準備期間は、当日までに約1カ月を要し、大変であったが、参加児童は23名、保護者も含めると過去最高の参加者となり、大いに盛り上がった。

現在、ナゴヤダルマガエルの研究をしている科学部としては、本校農業科の畑に生息するカエル類の紹介も、昆虫の紹介と併せて行った。

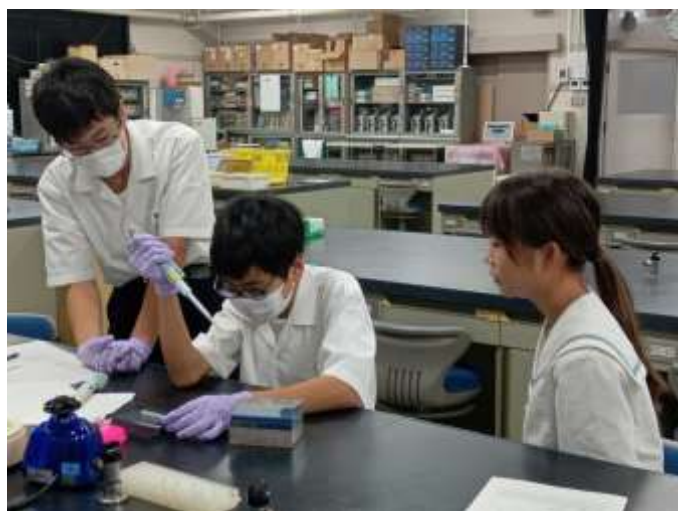
第2回は平日開催の為、参加できなかった本校科学部OBや一般社会人も手伝いとして再び参加した。

# 高大連携 名古屋市立大学総合生命理学部との交流

8月9日（金）開催 会場 名古屋市立大学 主催 名古屋市立大学総合生命理学部熊沢研究室



本校科学部の活動紹介



PCR反応に関する研修



総合生命理学部のコレクションの紹介



実験温室の見学



本校参加者と大学側教員との記念写真

科学部の活動の主軸のひとつに、外部の人との交流を掲げている。これは、今年から開催している自然教室とは別に、科学者や技術者、携わる一般の大人たちとの交流を通じて、研究に対する姿勢から、教養、人間性について幅広く学ぶものである。

交流の受け入れ先は総合生命理学部生命科学領域である。今回の交流主幹である熊沢教授慶伯教授から学部の研究領域の説明の後、DNAの実験操作に関する研修を受けた。その後、総合生命理学部の学内見学をし、意見交換をして終了した。なお、熊沢教授には今回の訪問でナゴヤダルマガエルの標本を手渡し、DNAの解析を依頼した。